

1. NL の年齢制限について

- NL は原則として、ロボカップジュニアの世界大会参加資格年齢上限（現時点のルールでは世界大会開催年 7 月 1 日時点で 19 才以下）を満たし、ジャパンオープンの共通ルールを順守している限り、特段の年齢制限は設けない。

ただし、NL と WL の競技ルールは技術面やプレゼン面での違いを明確に設けるために、各技術委員会の判断で年齢制限を設けることを認める。

例)

- ◇ OnStage 技術委員会では NL の参加資格を中学生以下に制限している。

2. NL の複数回出場について

- NL は選手自身の年齢が世界大会に出場できる最低年齢に達するまで複数回の出場を認める。年齢の判断は、ジャパンオープン（又は日本大会）開催日とする。
- ジャパンオープンの表彰チーム（プレゼン賞や特別賞は除く）に所属する選手は、年齢に関係なく翌年は WL へのチャレンジを奨励する。
- WL 出場経験が 1 回以上ある選手は、NL への出場経験がない場合であっても、NL への出場は不可とする。（追加事項）
- 2019 年和歌山大会から導入する。

(参考)

- ◇ RCJ では 2019 世界大会の最低年齢は 13 歳、2020 世界大会の最低年齢は 14 歳としている。

- ◇ 2019 和歌山の開催日 4/28, 29 時点での年齢による NL 出場可否は以下のとおりとする。

例 1) NL 出場経験がない選手の場合

- ・ 13 歳の選手は、2019 和歌山の NL 出場は可、2020 も NL 出場可、2021 は不可。
- ・ 14 歳以上の選手は、2019 和歌山の NL 出場は可、2020 は NL 出場不可。

例 2) NL 出場経験がある選手の場合

- ・ 13 歳の選手は、2019 和歌山の NL 出場は可、2020 も NL 出場可、2021 は不可。
- ・ 14 歳以上の選手は、2019 和歌山の NL 出場不可。

3. NL 競技運営資料の作成と各ブロックでの実践について

- 「競技運営ガイドライン」は NL・WL 両方で利用できる内容とし、理事会メンバーと各 TC メンバーからなるワークグループを構成し制作にあたる。
- 編集作業は理事会メンバー、TC は資料提供や監修役とする。
- 「競技運営ガイドライン」は公式 HP で公開 (PDF) し、各ブロックで活用する。ただし、各ブロックのローカルルールは尊重される。
- 初版は 2018 年 9 月頃（ブロック大会の募集がはじまる頃）に間に合うよう作業する。

4. NL 競技運営をメンター中心に実施することについて

- 当面、現状のままとする。
- 今年度のブロック大会から、3. で制作した「競技運営ガイドライン（初版）」の実践などを通

じて、各ブロックの活動により多くのメンターが関わられるように促す。

5. NL サッカーLW を新たに設けることについて

- NL サッカーは従前どおりとし、LW の新設は見送る。

6. OnStage の NL と WL の区分について

- 現行より“NL ルール緩和、WL との差別化を図る”ことが可能なのか TC で検討いただく。

7. NL チーム増に伴う WL チーム削減について

- 2019 和歌山大会のチーム比率は下表のとおりとする。

(チーム比率見直し案)

	カテゴリ	中津川大会	見直し案
サッカー	WSO	32	24
	WSL	64	56
	NSB	32	48(37.5%)
	計	128	128
レスキュー	WRM	12	10
	WRL	21	20
	NRL	15	18(37.5%)
	計	48	48
オンステージ	WOS	13	12
	NOS	W9	10(45.5%)
	計	22	22

8. NL は固定枠として各ブロックに 1 枠配分、残りを比例枠+特別枠とすることについて

- NL は固定枠として各ブロックに 1 枠配分、残りを比例枠+特別枠とする。

9. WL の固定枠について

- 現時点での妥協案としては、各ブロックへの固定枠 1 は維持する。
- ブロック大会当日の参加チーム数が“0”で、ブロック大会にて競技が実施されなかった場合、その競技カテゴリの固定枠は返上する（現行のまま）。
- ブロック大会当日の参加チーム数が“1”で、ブロック大会にて競技が実施されなかった場合、そのチームがジャパンオープンに出場できるレベルにあるか客観的評価が無いことから、次の 2 点を試験的に実施する。
  - ① 近隣の地域で開催されるブロック大会への出場する
  - ② 「ビデオ+審査書類」でブロック推薦として認めるか否かを試験的に実施する。

10. WL の「ビデオ+審査書類」について

- WL サッカー、レスキュー、OnStage について、ブロック大会の参加チームが“1”で、ブロック大会にて競技が実施されず、そのチームがジャパンオープンに出場できるレベルにあるか客観的評価として有効であるかを試験的に実施する。
- 「ビデオ+審査書類」の実施要項については、理事会メンバーと各 TC メンバーからなるワーキンググループを構成し策定にあたる。

以 上